

第8章

関連文化財群

渡満道路

とまんどろ

渡満道路 満蒙開拓青少年義勇軍が渡満する際に行軍した道路です。



第8章

関連文化財群

第8章では、関連する文化財をひとまとめにして保存・活用を目指す「関連文化財群」の概要を説明するとともに、課題を整理した上で、方針及び措置を定めます。

1 関連文化財群設定の考え方

関連文化財群とは、地域の多種多様な文化財を歴史文化の特性に基づいて一定のまとまりとして捉えたものです。テーマやストーリー¹によって関連する文化財を「群」としてまとめることで、文化財の多面的な価値や魅力を明らかにし、一体的な保存・活用につなげることができます。

本市の文化財は、第2章で掲げたように、時代、分布、性格が異なる多様な文化財が存在することから、地域計画では、一定のストーリーのもと関連文化財群を設定し、本市の文化財の魅力を分かりやすく整理していくこととします。

関連文化財群の設定に際しては、第3章で掲げた五つの歴史文化の特性（→80ページ）がストーリーとしても理解がしやすく、関連する文化財も多いことから、これを五つの関連文化財群として設定することとします（図8-1）。

水戸の歴史文化の特性と関連文化財群

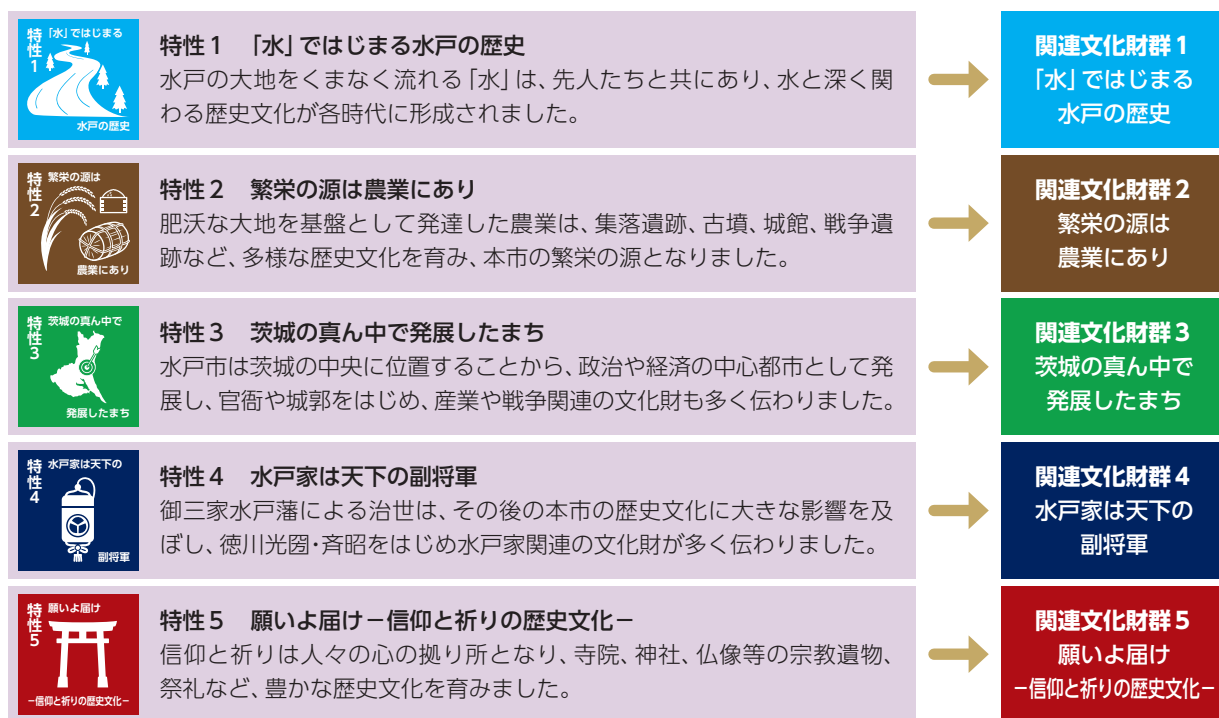


図8-1 水戸の歴史文化と関連文化財群の対応関係

¹ストーリー：複数の文化財をつなぐ物語のこと。



2 五つの関連文化財群

本節では、前節で設定した本市の五つの関連文化財群について、ストーリー及び関連文化財群の一覧を掲げます。さらに、各関連文化財群の課題・方針、措置を整理します。

(1) 関連文化財群 1

① 名称 「水」ではじまる水戸の歴史

② ストーリー

水戸は那珂川、洄沼川などの河川と複雑な地形で成り立っており、原始・古代から近現代を通して水と深く関わり、特色ある歴史文化を形作ってきました。

縄文時代には温暖な気候とラグーンに囲まれ、貝塚や集落が形成されました。古墳時代から古代にかけては、人や物資が行き交う交流・交通の結節点として栄え、重要遺跡が河岸段丘上に造営されました。

中世には河川が武士団の領域の境界となり、河川沿いに城館^{じょうかん}が築られました。近世になると那珂川水系や洄沼川水系で水運が発達し、重要な物流ルートとなるとともに、陸上交通とも結節し、交通の大動脈となりました。また水戸城^{みとじょう}の防御や偕楽園の借景に利用された千波湖、上水道として敷設された笠原水道^{かさばらすいどう}、農業用水として敷設された備前堀^{びぜんぼり}など、水と地域の関わりは多様化していきました。近代以降も、湧水や近代的水道施設が整備され、農業用水や水道として利用されました。(→80ページも参照)

③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	水戸市水道低区配水塔	有形文化財	建造物	国登録	北見町
2	金剛橋	有形文化財	建造物	未指定	本町外
3	市杵姫神社社殿	有形文化財	建造物	未指定	本町
4	道明橋	有形文化財	建造物	未指定	本町
5	水府橋	有形文化財	建造物	未指定	三の丸外
6	水戸市芦山浄水場	有形文化財	建造物	未指定	渡里町
7	大串貝塚出土遺物	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	塩崎町
8	笠原水道絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	田野町
9	千湖分間全図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
10	水府流水術	無形文化財		市指定	城東
11	吉田神社の秋季祭礼	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	宮内町
12	有賀神社の磯渡御	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	有賀町



No.	名称	類型		指定	所在地
13	愛宕山古墳	記念物	遺跡(史跡)	国指定	愛宕町
14	大串貝塚	記念物	遺跡(史跡)	国指定	塩崎町
15	台渡里官衙遺跡群(台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)	記念物	遺跡(史跡)	国指定	渡里町
16	水戸城跡(壘及び濠)	記念物	遺跡(史跡)	県指定	三の丸
17	笠原水道	記念物	遺跡(史跡)	県指定	千波町外
18	河和田城跡	記念物	遺跡(史跡)	市認定	河和田町
19	笠原不動尊跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	笠原町
20	歴史の道 古代海辺ルート	記念物	遺跡(史跡)	未指定	平戸町外
21	田谷遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	田谷町
22	曝井	記念物	遺跡(史跡)	未指定	愛宕町
23	白石遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	田谷町
24	旧制水戸高等学校跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	東原
25	涸沼川河床遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	平戸町
26	備前堀	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町外
27	吉田貝塚	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元吉田町
28	谷田貝塚	記念物	遺跡(史跡)	未指定	谷田町
29	長者山城跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	渡里町
30	渡里町遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	渡里町
31	小場江堰	記念物	遺跡(史跡)	未指定	下国井町
32	国田の渡し跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	下国井町
33	常陸の湯	記念物	遺跡(史跡)	未指定	加倉井町
34	玉龍泉	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
35	柳堤跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	柵町
36	酒門の北井戸	記念物	遺跡(史跡)	未指定	酒門町
37	水府流水術道場跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	城東
38	新船渡跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	城東
39	青柳の渡し跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	青柳町



No.	名称	類型		指定	所在地
40	一文舟渡跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	川又町
41	吉兵衛渡し跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	川又町
42	藤井城	記念物	遺跡(史跡)	未指定	藤井町
43	田辺の渡し跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	平戸町
44	日本武尊東征の伝説地	記念物	遺跡(史跡)	未指定	宮内町
45	漱石所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	笠原町
46	光藻	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	市指定	備前町
47	那珂川の鮭	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	青柳町外
48	大井三寒泉	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	飯富町
49	軍民坂湧水	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	国田町
50	那珂川	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	小泉町外
51	千波湖	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	千波町
52	中沢池	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	元吉田町
53	渡里湧水群	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	渡里町
54	御茶の水湧水	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	見川
55	浴徳泉碑	その他の文化財	石造物	未指定	笠原町
56	廻沼竿	その他の文化財	特産品	未指定	—
57	折居の泉	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
58	大王堰の水呑龍	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
59	無所だめの大蛇	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
60	斧沼のお姫さま	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
61	大塚池	その他の文化財	水戸の景観	未指定	大塚町
62	逆川緑地	その他の文化財	水戸の景観	未指定	笠原町外
63	桜川	その他の文化財	水戸の景観	未指定	城東外
64	楮川ダム	その他の文化財	水戸の景観	未指定	田野町
65	万代橋	その他の文化財	水戸の景観	未指定	根本町

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



- ：有形文化財
- ：無形文化財・民俗文化財
- ：記念物
- ：その他の文化財

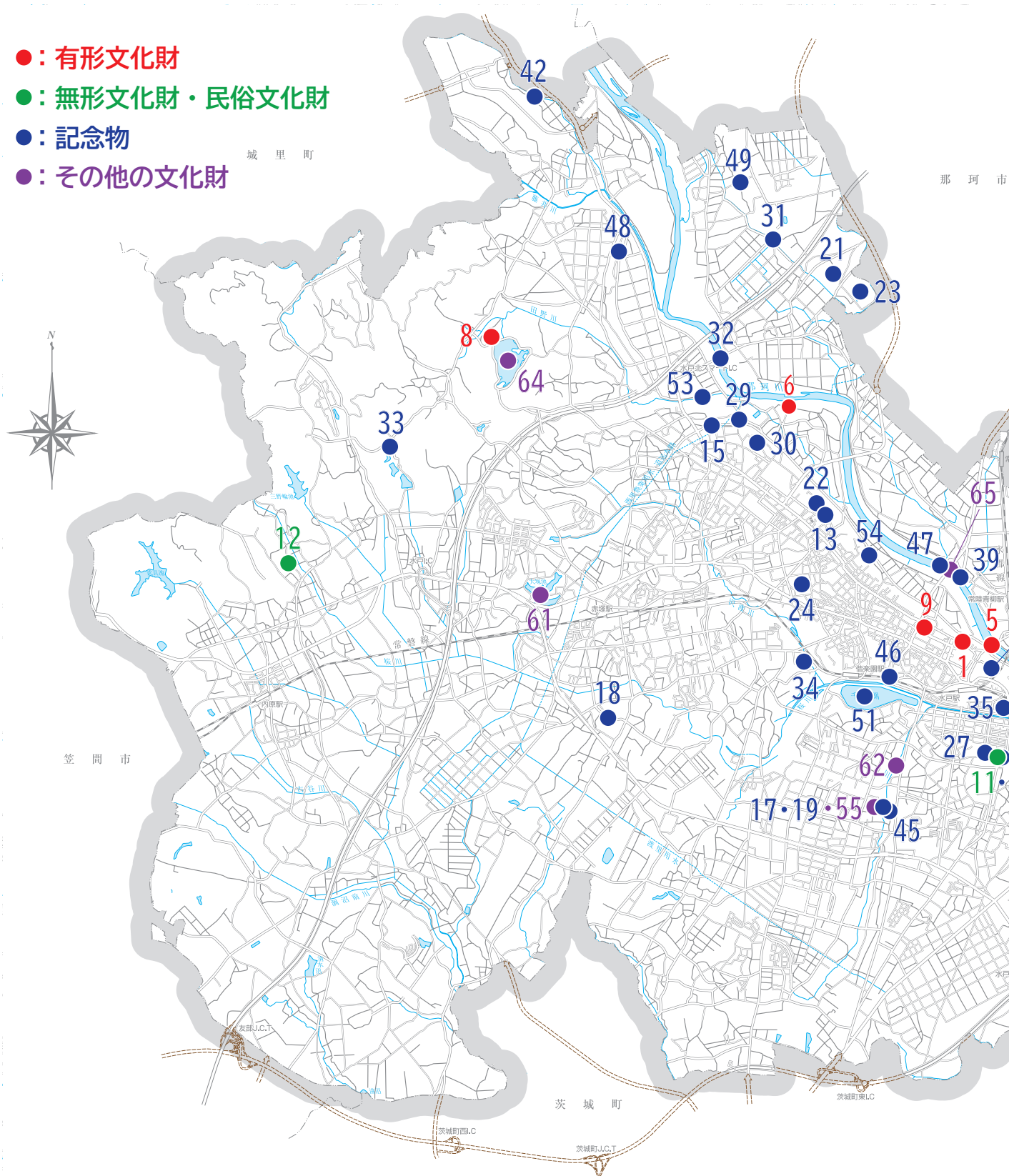


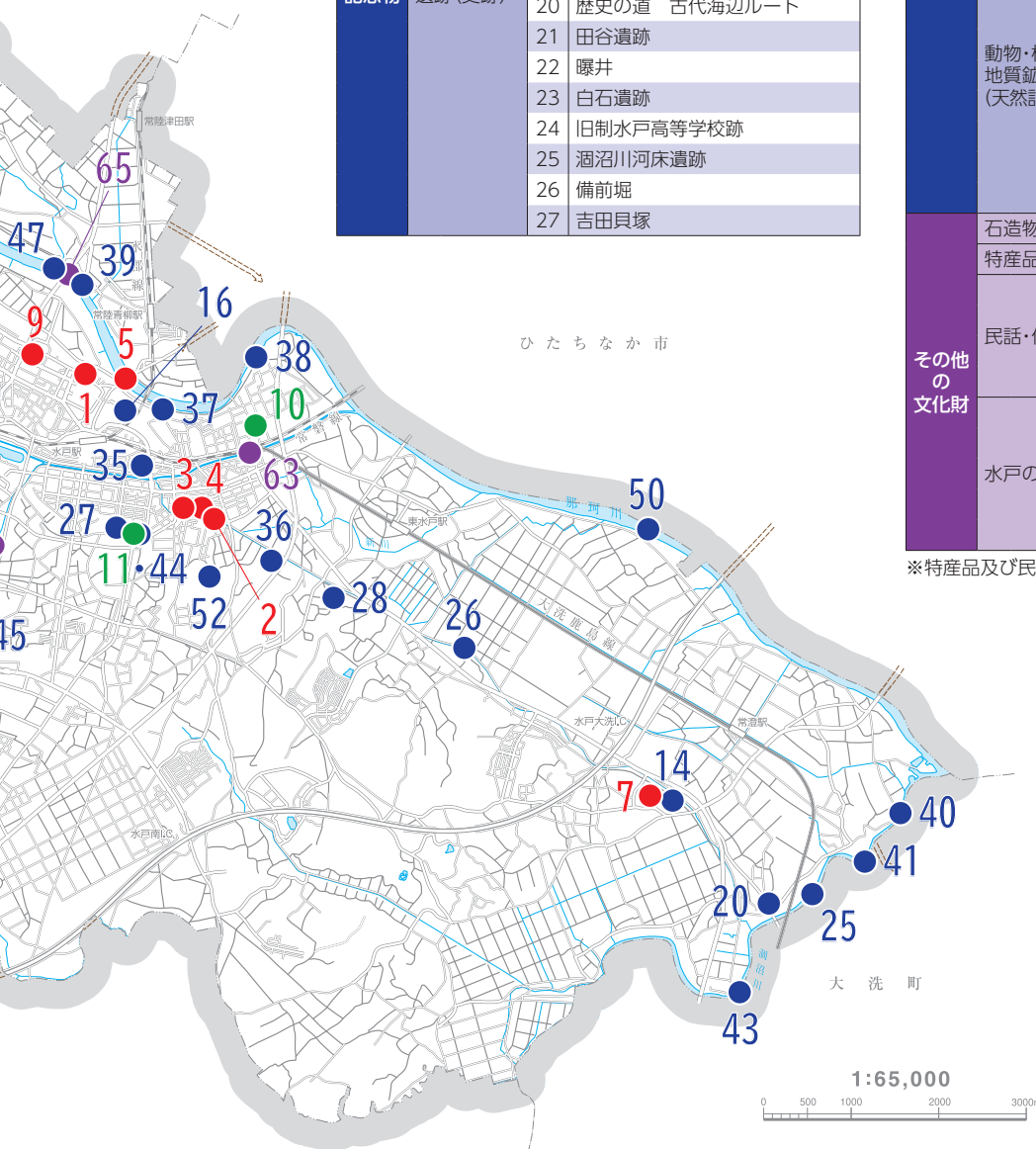
図8-2 関連文化財群1 「水」ではじまる水戸の歴史 構成文化財所在地図



類型	No.	名称
有形文化財	建造物	1 水戸市水道低区配水塔
		2 金剛橋
		3 市杵姫神社社殿
		4 道明橋
		5 水府橋
		6 水戸市芦山浄水場
	美術・工芸品	7 大串貝塚出土遺物
		8 笠原水道絵図
		9 千湖分間全図
無形文化財	10	水府流水術
民俗文化財	無形の民俗文化財	11 吉田神社の秋季祭礼
		12 有賀神社の磯波御
記念物	遺跡(史跡)	13 愛宕山古墳
		14 大串貝塚
		15 台渡里官衙遺跡群(台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)
		16 水戸城跡(壘及び濠)
		17 笠原水道
		18 河和田城跡
		19 笠原不動尊跡
		20 歴史の道 古代海辺ルート
		21 田谷遺跡
		22 曝井
		23 白石遺跡
		24 旧制水戸高等学校跡
		25 廻沼川河床遺跡
		26 備前堀
		27 吉田貝塚

類型	No.	名称
記念物	遺跡(史跡)	28 谷田貝塚
		29 長者山城跡
		30 渡里町遺跡
		31 小場江堰
		32 国田の渡し跡
		33 常陸の湯
		34 玉龍泉
		35 柳堤跡
		36 酒門の北井戸
		37 水府流水術
		38 新船渡
		39 青柳渡し
		40 一文舟渡
		41 吉兵衛渡し
		42 藤井城
		43 田辺の渡し
		44 日本武尊東征の伝説地
		45 漱石所跡
	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	46 光藻
		47 那珂川の蛙
		48 大井三寒泉
		49 軍民坂湧水
		50 那珂川
		51 千波湖
		52 中沢池
		53 渡里湧水群
		54 御茶の水湧水
その他の文化財	石造物	55 浴徳泉碑
	特産品	56 廻沼竿
	民話・伝説	57 折居の泉
		58 大王堰の水呑龍
		59 無所だめの大蛇
		60 斧沼のお姫さま
	水戸の景観	61 大塚池
		62 逆川緑地
		63 桜川
		64 楮川ダム
		65 万代橋

※特産品及び民話・伝説は図中に番号なし





④ 課題・方針

- 本ストーリーは、動物・植物・地質鉱物（天然記念物）と深い関わりがあり、これらの文化財を保全していくためには、定期的にモニタリングを実施していく必要があります。そのため、ヒカリモ等の動植物のモニタリングや自然環境調査を推進します。→措置1-1
- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通した情報発信を推進するとともに、講演会の開催や説明板の設置を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーは逆川緑地等、景観との関わりが深く、こうした水戸ならではの歴史・自然景観を将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、風致地区や景観ガイドライン等による規制や誘導を適切に推進するとともに、森林や水辺環境等の保全・形成を推進します。→措置2-2
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、水戸城跡、備前堀、千波湖等の歴史景観を生かしたまちづくりを推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を生かし、楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要があります。そのため、大串貝塚や台渡里官衙遺跡群など、各構成文化財が所在する地域において、文化財を活用した様々な施策を推進します。→措置3-2
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
- 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
- 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2



⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名	措置内容	継続／新規	取組主体						計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期	
1-1-5	ヒカリモの調査・研究	継続	◎				○	■	■	
1-1-6	自然環境調査の実施	継続	◎					■	■	
1-3-1	ホームページの充実	継続	◎					■	■	
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	継続	◎					■	■	
1-3-5	シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		◎	◎	◎	■	■	
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	継続	◎	○	◎			■	■	
2-2-1	風致地区における規制等の適正な運用	継続	◎		*			■	■	
2-2-2	景観ガイドライン等による景観誘導	継続	◎		○			■	■	
2-2-3	公共施設における先導的な景観形成	継続	◎					■	■	
2-2-4	水戸ならではの景観の形成	継続	◎		○			■	■	
2-2-6	特別緑地保全地区の保全	継続	◎		*			■	■	
2-2-8	豊かな水辺環境の保全	継続	◎		*			■	■	
2-2-9	生物多様性の保全	継続	◎		*			■	■	
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	新規	◎					■	■	
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	新規	◎				◎	■	■	
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	継続	◎	*	*	*		■	■	
3-2-5	梅まつりをはじめ年間を通じた民官連携イベントの充実	継続	◎			○		■	■	
3-2-6	朝型・夜型イベントの充実	継続	◎			○		■	■	
3-2-7	園路、広場等の整備	継続	◎					■	■	



第8章 関連文化財群

措置名		措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
				行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
3-2-8	民間活力等を活用した魅力的な空間演出	【偕楽園・千波湖周辺地区】黄門像広場周辺地区で実施しているパークPFI事業により、自然の特色を生かしつつ、民間活力を活用した魅力的な空間演出を推進します。	継続	◎			◎		■	■
3-2-9	千波湖における環境学習会等の実施	【偕楽園・千波湖周辺地区】協働による千波湖学習会の開催等により、千波湖周辺の自然環境保全に係る意識の高揚を図ります。	継続	◎				○	■	■
3-2-10	偕楽園、千波湖、アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性を高める仕掛けづくりの推進	【偕楽園・千波湖周辺地区】偕楽園、千波湖、アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性向上に向けた事業を推進します。	継続	◎			○		■	■
3-2-12	あじさいまつりの充実	【保和苑周辺地区】近隣学校や地元商店会等と連携しながら、水戸のあじさいまつりの各コンテンツの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-2-13	近隣学校等と連携した若い世代を呼び込む取組の推進	【保和苑周辺地区】近隣学校や地元商店会等と連携しながら、保和苑及び周辺史跡を活用した事業を実施し、年間を通して「水戸のロマンチックゾーン」に若い世代を呼び込みます。	継続	◎		○	○		■	■
3-2-14	市民主体の景観まちづくりの促進	【備前堀周辺地区】建築物等の景観誘導を図ること等により、住んでいてよかったと思える備前堀景観まちづくりを進めます。	継続	◎	*	◎			■	■
3-2-15	備前堀を活用したイベントの開催	【備前堀周辺地区】備前堀灯ろう流しなど、備前堀を活用した民間イベントの開催を支援します。	継続	○		◎			■	■
3-2-16	台渡里官衙遺跡群の活用方策の検討	国史跡台渡里官衙遺跡群について、地域住民等との協働のもと、新たな魅力発信交流拠点としての活用方策を検討します。	継続	◎		○	*		■	■
3-2-18	大串貝塚ふれあい公園の活用	地域や市民に親しまれる歴史公園となるよう、埋蔵文化財センターの展示、貝層断面の修繕、風土記の丘ふるさとまつりの充実等を図ります。	継続	◎		*	*		■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	市立博物館において、常設展示を適宜更新するとともに、特別展及び企画展を開催するなど、自然、歴史、民俗、美術資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	埋蔵文化財センターにおける市内遺跡調査の成果をもとにした企画展を開催するなど、考古資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進（キャリアプラン）	日本遺産に関する現地見学など、郷土への理解と関心を深める教育や、芸術に触れ豊かな感性を育む教育を充実するとともに、様々な体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進します。	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	かるた大会やかるためぐりを開催するとともに、かるたの更新を適宜行うなど、水戸郷土かるたの活用を通して、水戸の文化財や先人を楽しく学ぶ機会の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-2-1	いきいき出前講座の推進	市民に市政に対する理解を深めてもらい、地域の課題を市民と行政が一体となって考える機会とするため、「いきいき出前講座」の活用を促進します。	継続	◎					■	■
4-2-3	市民主体の生涯学習活動の促進	生涯学習サポーターとの協働により、企画講座等の学習プログラムを市民に提供するとともに、サポーターの資質向上を図る研修を実施します。	継続	◎					■	■
4-2-6	自然観察会の開催	市立博物館において自然観察会を季節ごとに開催し、水戸の生物や地質等を学ぶ機会を提供します。	継続	◎					■	■
4-2-9	図書、資料の充実	市民の調査研究や学習活動を支えるため、郷土・行政資料をはじめ、幅広い分野の図書、資料の収集を推進します。	継続	◎					■	■



(2) 関連文化財群 2

① 名称 繁栄の源は農業にあり

② ストーリー

本市は肥沃な大地に恵まれた、農業が盛んな地域であり、農業に関する特色ある歴史文化が育まれました。

農耕は弥生時代から始まり、市内でも集落が形成されました。古墳時代から古代にかけては、大小様々な集落が営まれ、牛伏古墳群などの古墳も農耕地帯を望む場所に造営されました。中世には「中妻三十三郷」と呼ばれた穀倉地帯が発展し、江戸氏の躍進を支える重要な財源となりました。近世になると、水戸藩による新田開発が進められました。備前堀や秋成新田等の農業関連遺構や御田植といった伝承や祭礼、大根むき花などの民俗芸能が活発化した近世農業の歴史を物語っています。

近代には都市化が進み、都市近郊型農業が定着しました。昭和恐慌から戦中にかけては、満蒙開拓青少年義勇軍の訓練所が設置され、農事訓練や軍事訓練が行われました。本市には関連する遺構が多数残り、農事と軍事が混交した希少な文化財群となっています。(→83ページも参照)

③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	中崎家住宅	有形文化財	建造物	国指定	鯉淵町
2	綿引家住宅(主屋・倉)	有形文化財	建造物	県指定	元吉田町
3	満蒙開拓幹部訓練所 事務棟・講義棟	有形文化財	建造物	市認定	鯉淵町
4	弥栄神社本殿	有形文化財	建造物	未指定	鯉淵町
5	水車小屋	有形文化財	建造物	未指定	緑町
6	水戸農業高等学校 旧本館玄関	有形文化財	建造物	未指定	緑町
7	水戸台地出土弥生・古墳時代 折衷土器群 6点	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	塩崎町
8	常磐村原分田畑反別絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
9	濱田村絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
10	田谷の棒術	無形文化財		市指定	田谷町
11	水戸の座敷舞	無形文化財		市認定	八幡町
12	大根むき花	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	元石川町



No.	名称	類型		指定	所在地
13	大串のささらと大野のみろく	民俗文化財	無形の民俗文化財	国選択	大串町外
14	河和田城跡	記念物	遺跡(史跡)	市認定	河和田町
15	親鸞聖人御田植の伝承地	記念物	遺跡(史跡)	市認定	飯富町
16	赤尾関館跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	赤尾関町
17	牛伏古墳群	記念物	遺跡(史跡)	未指定	牛伏町外
18	二所神社古墳	記念物	遺跡(史跡)	未指定	大足町
19	舟塚古墳群	記念物	遺跡(史跡)	未指定	大足町
20	大塚新地遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	大塚町
21	鯉淵城跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	鯉淵町
22	渡満道路	記念物	遺跡(史跡)	未指定	鯉淵町外
23	コロニー古墳群	記念物	遺跡(史跡)	未指定	杉崎町
24	小原遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	東前町
25	東前原遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	東前町
26	備前堀	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町外
27	見川塚畑遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
28	大鋸町遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元吉田町
29	小場江堰	記念物	遺跡(史跡)	未指定	下国井町
30	平戸館	記念物	遺跡(史跡)	未指定	平戸町
31	秋成新田	記念物	名勝地(名勝)	未指定	秋成町外
32	武具池	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	杉崎町
33	渡里湧水群	記念物	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	未指定	渡里町
34	内原第一土地区画事業記念碑	その他の文化財	石造物	未指定	内原町
35	日本国民高等学校「顕彰碑」	その他の文化財	石造物	未指定	内原町
36	満蒙開拓殉職者之碑	その他の文化財	石造物	未指定	内原町



No.	名称	類型		指定	所在地
37	中妻地区土地改良事業 完成記念碑「天父地母」	その他の文化財	石造物	未指定	大塚町
38	三野輪池改修工事竣工記念碑 「農は國の本ナリ」	その他の文化財	石造物	未指定	黒磯町
39	鯉淵、出兵沢開墾記念の碑	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
40	鯉淵、根古屋農地改革記念碑	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
41	農水省研修館機械化研修生 建立「機魂」	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
42	播田実地区土地改良総合整備 事業記念碑「実土」	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
43	満蒙開拓青少年義勇軍 内原訓練所之碑	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
44	播田実地区土地改良記念碑 「瑞穂」	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
45	満蒙開拓青少年義勇軍記念碑 「拓魂」	その他の文化財	石造物	未指定	鯉淵町
46	土地改良区記念碑「革土潤生」	その他の文化財	石造物	未指定	五平町
47	杉崎地区総合整備事業竣工 記念之碑「増培土耕」	その他の文化財	石造物	未指定	杉崎町
48	満蒙開拓義勇軍武具池改修 殉難碑	その他の文化財	石造物	未指定	杉崎町
49	中妻土地改良区武具池系 土地改良祈念碑「盡地力」	その他の文化財	石造物	未指定	杉崎町
50	農人形	その他の文化財	特産品	未指定	—
51	吉原殿中	その他の文化財	特産品	未指定	—
52	雷様の箱宮	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
53	七之助様と雨乞い	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
54	常澄地区の田園風景	その他の文化財	水戸の景観	未指定	西大野外

序
章

第1
章

第2
章

第3
章

第4
章

第5
章

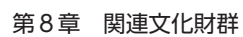
第6
章

第7
章

第8
章

第9
章

資
料



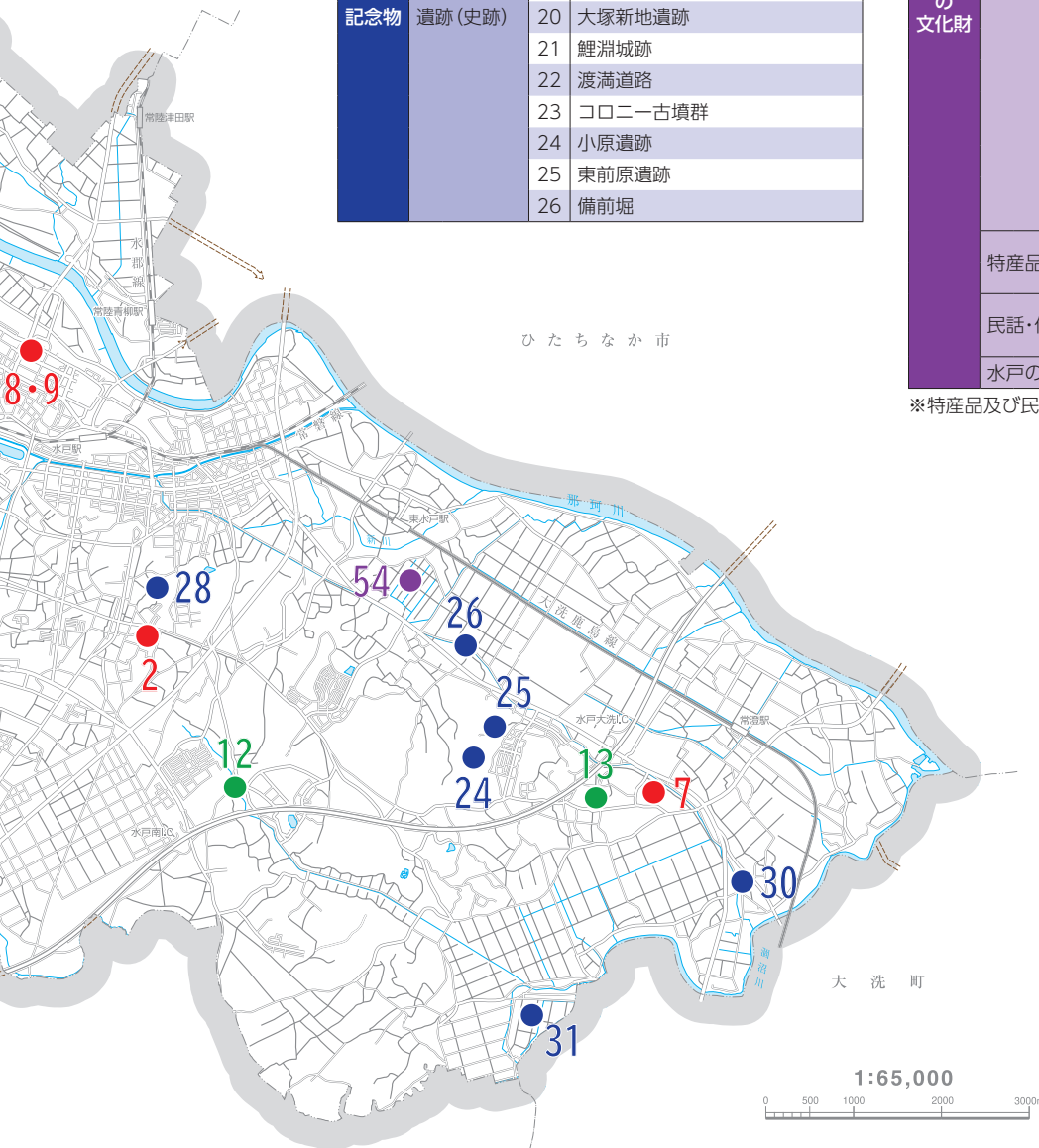


那珂市

類型		No.	名称	
有形文化財	建造物	1	中崎家住宅	
		2	綿引家住宅(主屋・倉)	
		3	満蒙開拓幹部訓練所 事務棟・講義棟	
		4	弥栄神社本殿	
		5	水車小屋	
		6	水戸農業高等学校旧本館玄関	
	美術工芸品	考古資料	7	水戸台地出土弥生・古墳時代折衷土器群 6点
		歴史資料	8	常磐村原分田畑反別絵図
			9	濱田村絵図
無形文化財		10	田谷の棒術	
		11	水戸の座敷舞	
民俗文化財	無形の民俗文化財	12	大根むき花	
		13	大串のささらと大野のみろく	
記念物	遺跡(史跡)	14	河和田城跡	
		15	親鸞聖人御田植の伝承地	
		16	赤尾関館跡	
		17	牛伏古墳群	
		18	二所神社古墳	
		19	舟塚古墳群	
		20	大塚新地遺跡	
		21	鯉淵城跡	
		22	渡満道路	
		23	コロニー古墳群	
		24	小原遺跡	
		25	東前原遺跡	
		26	備前堀	

類型	No.	名称
記念物	遺跡(史跡)	27 見川塚畑遺跡
		28 大鋸町遺跡
		29 小場江堰
	名勝地(名勝)	30 平戸館
		31 秋成新田
	動物・植物・地質鉱物(天然記念物)	32 武具池
		33 渡里湧水群
その他の文化財	石造物	34 内原第一土地区画事業記念碑
		35 日本国民高等学校「顕彰碑」
		36 満蒙開拓殉職者之碑
		37 中妻地区土地改良事業完成記念碑「天父地母」
		38 三野輪池改修工事竣工記念碑「農は國の本ナリ」
		39 鯉淵、出兵沢開墾記念の碑
		40 鯉淵、根古屋農地改革記念碑
		41 農水省研修館機械化研修生建立「機魂」
		42 播田実地区土地改良総合整備事業記念碑「実土」
		43 満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練所之碑
		44 播田実地区土地改良記念碑「瑞穂」
		45 満蒙開拓青少年義勇軍記念碑「拓魂」
		46 土地改良区記念碑「革土潤生」
		47 杉崎地区総合整備事業竣工記念之碑「増培土耕」
		48 満蒙開拓義勇軍武具池改修殉難碑
		49 中妻土地改良区武具池系土地改良祈念碑「盡地力」
	特産品	50 農人形
		51 吉原殿中
	民話・伝説	52 雷様の箱宮
		53 七之助様と雨乞い
	水戸の景観	54 常澄地区の田園風景

※特産品及び民話・伝説は図中に番号なし



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通した情報発信、刊行物の刊行、講演会の開催、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、備前堀周辺地区の景観まちづくりをはじめとする関連施策を推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を生かし、楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要があります。そのため、牛伏古墳群や舟塚古墳群等の構成文化財が所在する地域において、文化財を活用した様々な施策を推進します。→措置3-2
- 本ストーリーや構成文化財は、農人形や吉原殿中など、水戸らしさを伝える文化財(→112ページ)が含まれており、その活用を図っていく必要があります。水戸の歴史に裏打ちされたまつり、生活文化、食文化、伝統工芸等について、活用に係る施策を推進します。→措置3-4
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
- 本ストーリー及び構成文化財は、満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練所之碑をはじめとする満蒙開拓関連の文化財が多く所在するなど、戦争にも関連しています。戦争の記憶を継承し、平和の尊さを伝えていくことは人類の責務と言えます。そのため、ぴ〜すプロジェクト等により、ストーリー及び構成文化財を生かした平和事業を推進します。→措置3-6
- 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
- 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2



⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名		措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
				行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
1-3-1	ホームページの充実	市ホームページについて、文化財関連情報を素早くリサーチできるよう、サイトマップを適宜見直し、改善を図ります。	継続	◎					■	■
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	公式SNSを新設し、市の文化財情報をリアルタイムで配信するとともに、市公式YouTubeを活用し、文化財関連の動画番組を適宜拡充します。	継続	◎					■	■
1-3-4	刊行物による情報発信	「水戸の先人たち」、「水戸の指定文化財」、博物館図録等の既刊行物の頒布を促進するとともに、新規に刊行物を発行し、情報発信に努めます。	継続	◎					■	■
1-3-5	シンポジウム・講演会等の開催	文化財、郷土の先人、展覧会のテーマにあわせたシンポジウム・講演会等を適宜開催し、情報発信に努めます。	継続	◎		◎	◎	◎	■	■
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	文化遺産説明板等の修繕や新規設置を適宜実施します。	継続	◎	○	◎			■	■
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を導入し、効率的・効果的な文化財の保存・活用を進めます。	新規	◎					■	■
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	災害発生時に即時対応できるよう、茨城史料ネット、県立歴史館等との連携を強化し、レスキュー体制の構築に努めます。	新規	◎				◎	■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	水戸ならではの歴史的景観の保全・形成に取り組むとともに、歴史的資源の適切な保存・活用を図るなど、天下の魁・水戸にふさわしい風格ある歴史まちづくりを進めます。 また、歴史的風致維持向上計画（第3期）の策定を進めます。	継続	◎	*	*	*		■	■
3-2-14	市民主体の景観まちづくりの促進	【備前堀周辺地区】建築物等の景観誘導を図ること等により、住んでいてよかったと思える備前堀景観まちづくりを進めます。	継続	◎	*	◎			■	■
3-2-15	備前堀を活用したイベントの開催	【備前堀周辺地区】備前堀灯ろう流しなど、備前堀を活用した民間イベントの開催を支援します。	継続	○		◎			■	■
3-2-19	くれふしの里古墳公園の活用	県内有数の古墳密集地としての特性を生かしながら、にぎわいのある魅力発信交流拠点の形成を図ります。	継続	◎					■	■
3-4-1	各種まつりの充実	水戸ならではの歴史、文化、食、体験等の資源を活用しながら、まつり・イベントの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-4-3	歴史的資源、花火、納豆や水府提灯等の特産品を活用したブランディング	集客力のあるイベントにおいて、弘道館・偕楽園等の水戸徳川家ゆかりの歴史的資源や、花火、納豆、水府提灯等の地域資源を活用したコンテンツの実施及びPRを行います。	継続	◎			○		■	■
3-4-4	水戸の誇る食文化の発信	ホームページやSNS等を通じて本市の特産品である納豆の情報を発信するほか、納豆関連イベント等への支援を行い、「納豆のまち・水戸」のプロモーションを実施します。	継続	◎			○		■	■
3-4-5	水戸の誇る伝統文化の発信	まつり、花火、水府提灯等の伝統文化について、インフルエンサーの活用やインバウンド向けの発信等を戦略的に実施します。	継続	◎					■	■
3-4-6	農福連携によるわら納豆の未来への継承	本市の特産品である「わら納豆」用わらつとの生産者が減少する中、農福連携による生産体制づくり、わら納豆のPR等により、水戸の納豆文化の未来への継承を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-4-7	水戸の梅産地づくりの推進	ジョイント栽培による梅の生産を推進するとともに、水戸の梅産地づくり協議会を通じた、生産、加工、販売の一体化を推進します。	継続	◎		○	○	*	■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	市立博物館において、常設展示を適宜更新するとともに、特別展及び企画展を開催するなど、自然、歴史、民俗、美術資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	埋蔵文化財センターにおける市内遺跡調査の成果をもとにした企画展を開催するなど、考古資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■



措置名	措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
3-5-3 内原郷土史義勇軍資料館における展示の充実	内原郷土史義勇軍資料館において、満蒙開拓に特化した国内唯一の公立博物館としての特性を生かし、企画展を開催するなど、展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-6-3 ぴ〜すプロジェクトの実施	多角的な平和事業を展開するため、市内博物館が連携する「ぴ〜すプロジェクト」を推進します。	継続	◎		*	*		■	■
4-1-1 水戸スタイルの教育の推進（キャリアプラン）	日本遺産に関する現地見学など、郷土への理解と関心を深める教育や、芸術に触れ豊かな感性を育む教育を充実するとともに、様々な体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進します。	継続	◎					■	■
4-1-4 水戸郷土かるたの活用	かるた大会やかるためぐりを開催するとともに、かるたの更新を適宜行うなど、水戸郷土かるたの活用を通して、水戸の文化財や先人を楽しく学ぶ機会の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-1-6 伝統文化親子教室の開催支援	こどもたちが親と一緒に民俗芸能・邦楽・茶道・華道等を体験し、伝統文化に親しめるよう、市民活動団体が実施する伝統文化親子教室の開催を支援します。	継続	◎		○			■	■
4-2-1 いきいき出前講座の推進	市民に市政に対する理解を深めてもらい、地域の課題を市民と行政が一体となって考える機会とするため、「いきいき出前講座」の活用を促進します。	継続	◎					■	■
4-2-6 自然観察会の開催	市立博物館において自然観察会を季節ごとに開催し、水戸の生物や地質等を学ぶ機会を提供します。	継続	◎					■	■
4-2-7 水戸市郷土民俗芸能のつどいの開催支援	（一社）水戸市郷土民俗芸能団体協議会が主催する「水戸市郷土民俗芸能のつどい」の開催支援を通して、民俗芸能の魅力を広く発信します。	継続	◎			○		■	■
4-2-8 民俗芸能団体への支援の充実	民俗芸能団体に対し、市独自の補助金を交付するとともに、広報や発表機会を提供するなど、多角的な支援を通して民俗芸能の継承に努めます。	継続	◎					■	■
4-2-9 図書、資料の充実	市民の調査研究や学習活動を支えるため、郷土・行政資料をはじめ、幅広い分野の図書、資料の収集を推進します。	継続	◎					■	■

(3) 関連文化財群 3

① 名称 茨城の真ん中で発展したまち

② ストーリー

本市は茨城県の中央に位置し、古代から政治・社会・経済の中心地として発展してきました。

古代には台渡里官衙遺跡群が常陸国那賀郡の郡家として地域支配の中心となりました。中世になるとその中心は水戸城に移り、大掾氏、江戸氏、佐竹氏が城主となり城域を拡大していきました。近世になると、水戸城と城下町は更に拡大され、常陸国の中心地としての地位を確立しました。武家地とともに町人地も整備され、現在も続く伝統産業が生まれました。

さらに、水戸彰考館や弘道館は学問・教育施設として全国的にも名を馳せ、全国屈指の教育先進藩として知られる水戸藩の教育的伝統の中心地となりました。

近代以降も旧城下町は中心市街地として栄え、旧茨城県庁舎、泉町会館、水戸芸術館、水戸市民会館など、各時代の特徴的な建造物が立ち並んでいます。また、現在の茨城大学周辺には陸軍衛戍が設置され、本市は軍都としての性格も帯びました。水戸空襲による被災遺構や戦争関連の文化財も多く存在し、戦争の記憶が語り継がれています。（→86ページも参照）



③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	旧水戸城薬医門	有形文化財	建造物	県指定	三の丸
2	祐月本店雛蔵	有形文化財	建造物	国登録	末広町
3	水戸市民会館	有形文化財	建造物	未指定	泉町
4	旧川崎銀行	有形文化財	建造物	未指定	泉町
5	泉町会館	有形文化財	建造物	未指定	泉町
6	茨城県庁舎	有形文化財	建造物	未指定	笠原町
7	水戸芸術館	有形文化財	建造物	未指定	五軒町
8	大工町交番	有形文化財	建造物	未指定	大工町
9	旧中島商店	有形文化財	建造物	未指定	栄町
10	水戸駅上りホーム運転詰所	有形文化財	建造物	未指定	宮町
11	水戸駅前のからくり時計	有形文化財	建造物	未指定	宮町
12	水戸地方気象台	有形文化財	建造物	未指定	金町
13	旧茨城県庁舎	有形文化財	建造物	未指定	三の丸
14	大手橋	有形文化財	建造物	未指定	三の丸
15	水府橋	有形文化財	建造物	未指定	三の丸外
16	水戸市鳥瞰図原図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	未指定	大町
17	水戸駅前炎上図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	未指定	大町
18	水戸御用留	有形文化財	美術工芸品(古文書)	未指定	三の丸
19	水戸町方御用留	有形文化財	美術工芸品(古文書)	未指定	緑町
20	台渡里宮衙遺跡出土銅印	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	塩崎町
21	台渡里廃寺跡南方地区第1号工房跡出土資料	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	塩崎町
22	水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	塩崎町

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



No.	名称	類型		指定	所在地
23	台渡廃寺跡出土遺物	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	塩崎町
24	七面製陶所跡第1～3次出土遺物	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	塩崎町
25	水戸城跡出土一括埋納銭	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	塩崎町
26	水戸城跡出土遺物	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	塩崎町
27	木村家住宅 水戸空襲遺構 (附焼夷弾1点)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市認定	上水戸
28	空襲予告ビラ	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
29	焼夷弾(水戸投下分)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
30	水戸城下絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
31	水戸案内	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
32	水戸拓附版木	無形文化財		未指定	三の丸
33	水府提灯	無形文化財		未指定	新莊・袴塚・ 本町
34	旧弘道館	記念物	遺跡(特別史跡)	国指定	三の丸
35	台渡里官衙遺跡群 (台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)	記念物	遺跡(史跡)	国指定	渡里町
36	水戸城跡(塁及び濠)	記念物	遺跡(史跡)	県指定	三の丸
37	水戸神社跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	笠原町
38	歴史の道 近世那須道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	末広町外
39	歴史の道 近世宇都宮道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	末広町外
40	七面製陶所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	常磐町
41	水戸鑄銭所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	浜田
42	釜神町遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	備前町
43	陸軍衛戍跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	文京外
44	歴史の道 近世飯沼道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町外



No.	名称	類型		指定	所在地
45	歴史の道 近世岩城相馬道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町外
46	歴史の道 近世棚倉道・南郷道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	南町外
47	囲裏窯跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見和
48	大鋸町遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元吉田町
49	東組遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元吉田町
50	柳堤跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	柵町
51	水戸城惣構	記念物	遺跡(史跡)	未指定	中心市街地
52	江戸(水戸)街道宿場跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町
53	江戸街道起点	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町
54	弘道館記碑	その他の文化財	石造物	未指定	三の丸
55	水戸黄門まつり	その他の文化財	行事・イベント	未指定	泉町外
56	水戸金工	その他の文化財	特産品	未指定	—
57	水戸黒	その他の文化財	特産品	未指定	—
58	水戸の武道具	その他の文化財	特産品	未指定	—
59	水戸彫	その他の文化財	特産品	未指定	—
60	戦争の記憶 水戸空襲	その他の文化財	戦争の記憶	未指定	—
61	茨城県庁展望台からの眺めと 茨城県庁舎	その他の文化財	水戸の景観	未指定	笠原町
62	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀	その他の文化財	水戸の景観	未指定	三の丸
63	水戸市役所本庁舎	その他の文化財	水戸の景観	未指定	中央
64	ハミングロード	その他の文化財	水戸の景観	未指定	本町
65	中心市街地のまちなみ	その他の文化財	水戸の景観	未指定	南町外
66	宮下銀座	その他の文化財	水戸の景観	未指定	宮町

序
章

第
1
章

第
2
章

第
3
章

第
4
章

第
5
章

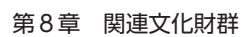
第
6
章

第
7
章

第
8
章

第
9
章

資
料

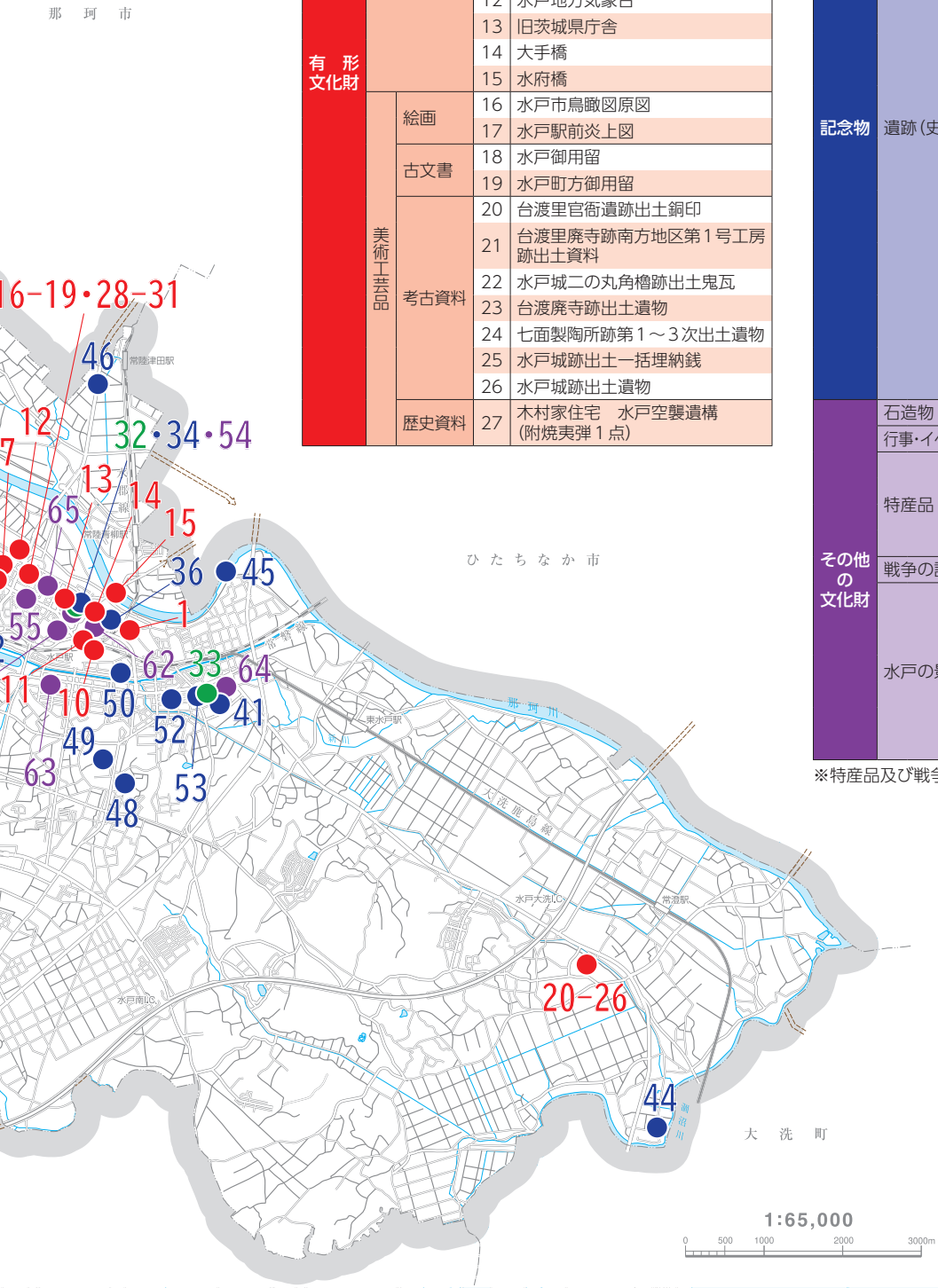




類型	No.	名称
有形文化財	建造物	1 旧水戸城薬医門
		2 祐月本店雛蔵
		3 水戸市民会館
		4 旧川崎銀行
		5 泉町会館
		6 茨城県庁舎
		7 水戸芸術館
		8 大工町交番
		9 旧中島商店
		10 水戸駅上りホーム運転詰所
		11 水戸駅前のからくり時計
		12 水戸地方气象台
		13 旧茨城県庁舎
		14 大手橋
		15 水府橋
	絵画	16 水戸市鳥瞰図原図
		17 水戸駅前炎上図
	古文書	18 水戸御用留
		19 水戸町方御用留
	考古資料	20 台渡里官衙遺跡出土銅印
		21 台渡里廃寺跡南方地区第1号工房跡出土資料
		22 水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦
		23 台渡廃寺跡出土遺物
		24 七面製陶所跡第1～3次出土遺物
		25 水戸城跡出土一括埋納銭
		26 水戸城跡出土遺物
	歴史資料	27 木村家住宅 水戸空襲遺構(附焼夷弾1点)

類型		No.	名称	
有形文化財	美術工芸品	歴史資料	28 空襲予告ビラ	
			29 焼夷弾(水戸投下分)	
			30 水戸城下絵図	
			31 水戸案内	
無形文化財			32 水戸拓附版木	
			33 水府提灯	
記念物	遺跡(史跡)	34 旧弘道館		
		35 台渡里官衙遺跡群 (台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)		
		36 水戸城跡(塙及び濠)		
		37 水戸神社跡		
		38 歴史の道 近世那須道		
		39 歴史の道 近世宇都宮道		
		40 七面製陶所跡		
		41 水戸鑄銭所跡		
		42 釜神町遺跡		
		43 陸軍衛戍跡		
		44 歴史の道 近世飯沼道		
		45 歴史の道 近世岩城相馬道		
		46 歴史の道 近世棚倉通・南郷道		
		47 囲裏窯跡		
		48 大鋸町遺跡		
		49 東組遺跡		
		50 柳堤跡		
		51 水戸城惣構		
		52 江戸(水戸)街道宿場跡		
		53 江戸街道起点		
		その他の文化財	石造物	54 弘道館記碑
			行事・イベント	55 水戸黄門まつり
			特産品	56 水戸金工
				57 水戸黒
				58 水戸の武道具
				59 水戸彫
戦争の記憶	60 戦争の記憶 水戸空襲			
水戸の景観	61 茨城県庁展望台からの眺めと 茨城県庁舎			
	62 水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁堀			
	63 水戸市役所本庁舎			
	64 ハミングロード			
	65 中心市街地のまちなみ			
	66 宮下銀座			

※特産品及び戦争の記憶は図中に番号なし



序章
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーは、近世の学びにも関連が深く、旧弘道館等の構成文化財を生かし「近世日本の教育遺産群」の発信や活用を進めていく必要があります。そのため、教育遺産群の世界遺産登録に向けた取組を進めるとともに、日本遺産を生かした魅力発信を推進します。
→措置1-2、3-3
- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通した情報発信、刊行物の刊行、講演会の開催、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーは水戸城跡（壘及び濠）など、景観との関わりが深く、こうした水戸ならではの歴史・自然景観を将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、風致地区や景観ガイドライン等による規制や誘導を適切に推進するとともに、森林や水辺環境等の保全・形成を推進します。→措置2-2
- 本ストーリーのうち、台渡里官衙遺跡群は古代水戸地域の中心地だったことを証明する重要な文化財であり、適切な保存・活用により将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、保存活用計画作成を進めるとともに、魅力発信交流拠点としての活用方策を検討します。→措置2-3、3-2
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、水戸城歴史的建造物である大手門や二の丸角櫓を活用した魅力づくりなど、関連施策を推進するとともに、適切な進行情勢管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を生かし、楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要があります。そのため、台渡里官衙遺跡群や水戸城関連文化財等の構成文化財が所在する地域において、文化財を活用した様々な施策を推進します。→措置3-2
- 本ストーリーや構成文化財は水戸城関連文化財、祐月本店雛蔵、旧川崎銀行、水戸芸術館など、外国人にとっても魅力が高く、国際的な視野で活用を図っていく必要があります。そのため、多角的なインバウンド観光を推進し、受入体制の充実を図ります。→措置3-3
- 本ストーリーや構成文化財は、水府提灯、水戸黄門まつり、水戸黒など、水戸らしさを伝える文化財（→112ページ）が含まれており、その活用を図っていく必要があります。水戸の歴史に裏打ちされたまつり、生活文化、食文化、伝統工芸等について、活用に係る施策を推進します。→措置3-4



- 本ストーリーや構成文化財の魅力を伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
 - 本ストーリー及び構成文化財は、水戸空襲に関する予告ビラや戦争の記憶など、戦争にも関連しています。戦争経験者が高齢化していく中、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを伝えていく必要があります。そのため、ぴ〜すプロジェクト等により、ストーリー及び構成文化財を生かした平和事業を推進します。→措置3-6
 - 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
 - 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2
- ⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名	措置内容	継続／新規	取組主体						計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期	
1-2-1	世界遺産登録に向けた取組の推進	継続	◎	*	*	*	*	■	■	
1-2-2	世界遺産シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		*		*	■	■	
1-2-3	教育遺産世界遺産登録推進協議会を通じた広域連携	継続	◎	*	*	*	*	■	■	
1-3-1	ホームページの充実	継続	◎					■	■	
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	継続	◎					■	■	
1-3-4	刊行物による情報発信	継続	◎					■	■	
1-3-5	シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		◎	◎	◎	■	■	
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	継続	◎	○	◎			■	■	
1-3-7	多言語対応の強化	継続	◎					■	■	
2-2-2	景観ガイドライン等による景観誘導	継続	◎		○			■	■	
2-2-3	公共施設における先導的な景観形成	継続	◎					■	■	
2-2-4	水戸ならではの景観の形成	継続	◎		○			■	■	
2-2-5	水戸城土塁(法面)の整備	継続	◎					■	■	
2-3-8	台渡里官衙遺跡群の保存活用計画の作成	継続	◎	*				■	■	



第8章 関連文化財群

措置名	措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	新規	◎					■	■
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	新規	◎				◎	■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	継続	◎	*	*	*		■	■
3-2-1	水戸城歴史的建造物を活用した魅力づくり	継続	◎					■	■
3-2-2	民官連携による年間を通してにぎわいづくり	継続	◎			○		■	■
3-2-3	朝型・夜型イベントの充実	継続	◎			○		■	■
3-2-4	歴史的景観の改修整備	継続	◎					■	■
3-2-16	台渡里官衙遺跡群の活用方策の検討	継続	◎		○	*		■	■
3-3-1	日本遺産を生かしたブランド力の向上	継続	◎		○	○		■	■
3-3-2	日本遺産フェスティバルin水戸の開催	新規	◎		*	*		■	
3-3-3	教育遺産群地域プレイヤーの育成	継続	◎		○			■	■
3-3-4	県内日本遺産認定都市間の連携	継続	◎					■	■
3-3-5	二の丸展示館における展示の充実	継続	◎					■	■
3-3-6	インバウンド観光の推進	継続	◎			○		■	■
3-4-1	各種まつりの充実	継続	◎		○	○		■	■
3-4-3	歴史的資源、花火、納豆や水府提灯等の特産品を活用したブランディング	継続	◎			○		■	■
3-4-4	水戸の誇る食文化の発信	継続	◎			○		■	■
3-4-5	水戸の誇る伝統文化の発信	継続	◎					■	■
3-4-8	グッズの制作・販売	継続	◎					■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	継続	◎					■	■



措置名	措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	継続	◎					■	■
3-5-4	水戸芸術館の運営充実	継続	◎					■	■
3-6-2	戦争経験者のアーカイブ化	継続	◎		○			■	■
3-6-3	び〜すプロジェクトの実施	継続	◎		*	*		■	■
3-6-4	わたしは戦争を忘れないの開催	継続	◎		○			■	
3-6-5	戦後世代による戦争経験の継承	継続	◎		○			■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進（キャリアプラン）	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	継続	◎					■	■
4-1-8	おもてなしボランティア活動の推進	継続	◎					■	■
4-2-1	いきいき出前講座の推進	継続	◎					■	■
4-2-9	図書、資料の充実	継続	◎					■	■

(4) 関連文化財群 4

① 名称 水戸家は天下の副将軍

② ストーリー

水戸藩は「御三家」の一つとして高い家格を有し、藩主は江戸に常駐していました。こうした他藩との違いは、藩内の人々に広く共有され、近代以降に広まった「水戸家は天下の副将軍である」という意識につながりました。御三家意識や副将軍意識は、近世・近代の水戸独自の個性として、本市の歴史文化に大きな影響を及ぼしました。

水戸藩の治世は2世紀半にわたり、今日の県都水戸の基盤を形成しました。そのため、水戸城や水戸大神楽などの水戸藩ゆかりの文化財が、現在も多く残っているのが特色です。特に第2代藩主徳川光圀と第9代藩主徳川斉昭は藩史に残る大事業を手掛けた藩主であり、多くの文化財からその足跡をうかがうことができます。

近代以降も「水戸黄門」は講談や映画、テレビドラマを通じて国民的キャラクターとなり、市民の活動やイベント、スポーツなどに活用され、水戸家は「水戸らしさ」の象徴となっています。（→87ページも参照）



③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	薬王院本堂	有形文化財	建造物	国指定	元吉田町
2	六地藏寺法寶蔵	有形文化財	建造物	市指定	六反田町
3	木造 聖徳太子立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	国指定	酒門町
4	太刀(銘則包作 附糸巻太刀拵)	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	国指定	緑町
5	銅製経筒	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	県指定	天王町
6	総毛引紅糸威胴丸具足	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	県指定	緑町
7	安神車	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	宮町
8	常葉山時鐘	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	宮町
9	銅造 燈籠	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	宮町
10	五輪塔	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	元吉田町
11	陣太鼓	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	常磐町
12	太極砲	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	常磐町
13	大串稻荷神社神輿並びに日月鉾	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	大串町
14	陣太鼓附台車	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	八幡町
15	刀(徳川齊昭作)	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	緑町
16	弘道館学生警鐘	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	未指定	三の丸
17	赤染茶椀	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	未指定	八幡町
18	筒茶碗	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	未指定	六反田町
19	六地藏寺所蔵典籍・文書	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	県指定	六反田町
20	左近詠草	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	市指定	緑町
21	紙本墨書徳川光圀書状	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	未指定	加倉井町
22	紙本墨書徳川綱條御文書、 紙本墨書徳川光圀御文書	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	未指定	八幡町



No.	名称	類型		指定	所在地
23	徳川光圀筆天徳寺心越禪師入院 賀章	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	未指定	八幡町
24	徳川光圀筆千字文ほか	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	未指定	元吉田町
25	一橋徳川家関係資料	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	国指定	緑町
26	徳川光圀書翰集	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	県指定	三の丸
27	訂正常陸国風土記版木 (附箱板 2 枚)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	県指定	緑町
28	石河明善日記 附 学制略 1 部、 弘道館教育に関する意見書 1 部	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	大町
29	大日本史編纂記録	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	緑町
30	食菜録のレシピ	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	—
31	水戸藩追鳥狩画冊	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
32	歌合(徳川斉脩・峯姫)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
33	大砲「奇」	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
34	徳川慶喜公御幼少時ノ日記	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
35	徳川光圀書詩稿(二首)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
36	徳川斉昭書歌	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
37	徳川斉昭書簡	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
38	徳川頼房書簡 〔義宣御腫物氣に付後音を期す〕	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
39	養賢閣図面	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	大町
40	徳川綱條筆扁額	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	元吉田町
41	徳川光圀扁額敬峰宗恭書	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	未指定	元吉田町
42	新田宮流抜刀術	無形文化財		市指定	北見町
43	北辰一刀流	無形文化財		市指定	北見町

序
章

第
1
章

第
2
章

第
3
章

第
4
章

第
5
章

第
6
章

第
7
章

第
8
章

第
9
章

資
料



No.	名称	類型		指定	所在地
44	水府流水術	無形文化財		市指定	城東
45	水戸大神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	県指定	元山町・常磐町
46	水戸の獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	元山町
47	大串のささらと大野のみろく	民俗文化財	無形の民俗文化財	国選択	大串町外
48	旧弘道館	記念物	遺跡(特別史跡)	国指定	三の丸
49	水戸城跡(塁及び濠)	記念物	遺跡(史跡)	県指定	三の丸
50	笠原水道	記念物	遺跡(史跡)	県指定	千波町外
51	千束原追鳥狩本陣跡	記念物	遺跡(史跡)	市指定	元石川町
52	義公生誕の地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	三の丸
53	酒門共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	酒門町
54	常磐共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	松本町
55	谷中中山家墓所	記念物	遺跡(史跡)	未指定	松本町
56	神勢館五町矢場跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	若宮
57	一遊亭跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
58	高枕亭跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
59	玉龍泉	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
60	桜の牧跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川町
61	水戸藩御用神楽屋敷跡 水戸大神楽発祥之地	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元台町
62	水戸城惣構	記念物	遺跡(史跡)	未指定	中心市街地
63	神崎鑄砲所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	天王町
64	白旗山下製作所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	八幡町
65	漱石所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	笠原町



No.	名称	類型		指定	所在地
66	常磐公園(偕楽園)	記念物	遺跡(史跡)・名勝地(名勝)	国指定	常磐町外
67	保和苑	記念物	名勝地(名勝)	市認定	松本町
68	水戸八景	記念物	名勝地(名勝)	未指定	青柳町外
69	秋成新田	記念物	名勝地(名勝)	未指定	秋成町外
70	河和田八景	記念物	名勝地(名勝)	未指定	河和田町外
71	千波沼八景	記念物	名勝地(名勝)	未指定	常磐町外
72	弘道館記碑	その他の文化財	石造物	未指定	三の丸
73	偕楽園記碑	その他の文化財	石造物	未指定	常磐町
74	水戸黄門まつり	その他の文化財	行事・イベント	未指定	泉町外
75	七面焼	その他の文化財	特産品	未指定	—
76	農人形	その他の文化財	特産品	未指定	—
77	黄門料理	その他の文化財	特産品	未指定	—
78	水戸藩らーめん	その他の文化財	特産品	未指定	—
79	吉原殿中	その他の文化財	特産品	未指定	—
80	水戸光圀お手植えの桜	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
81	水戸光圀黄門さまと老婆	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
82	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁堀	その他の文化財	水戸の景観	未指定	三の丸

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



●：有形文化財

●：無形文化財・民俗文化財

●：記念物

●：その他の文化財

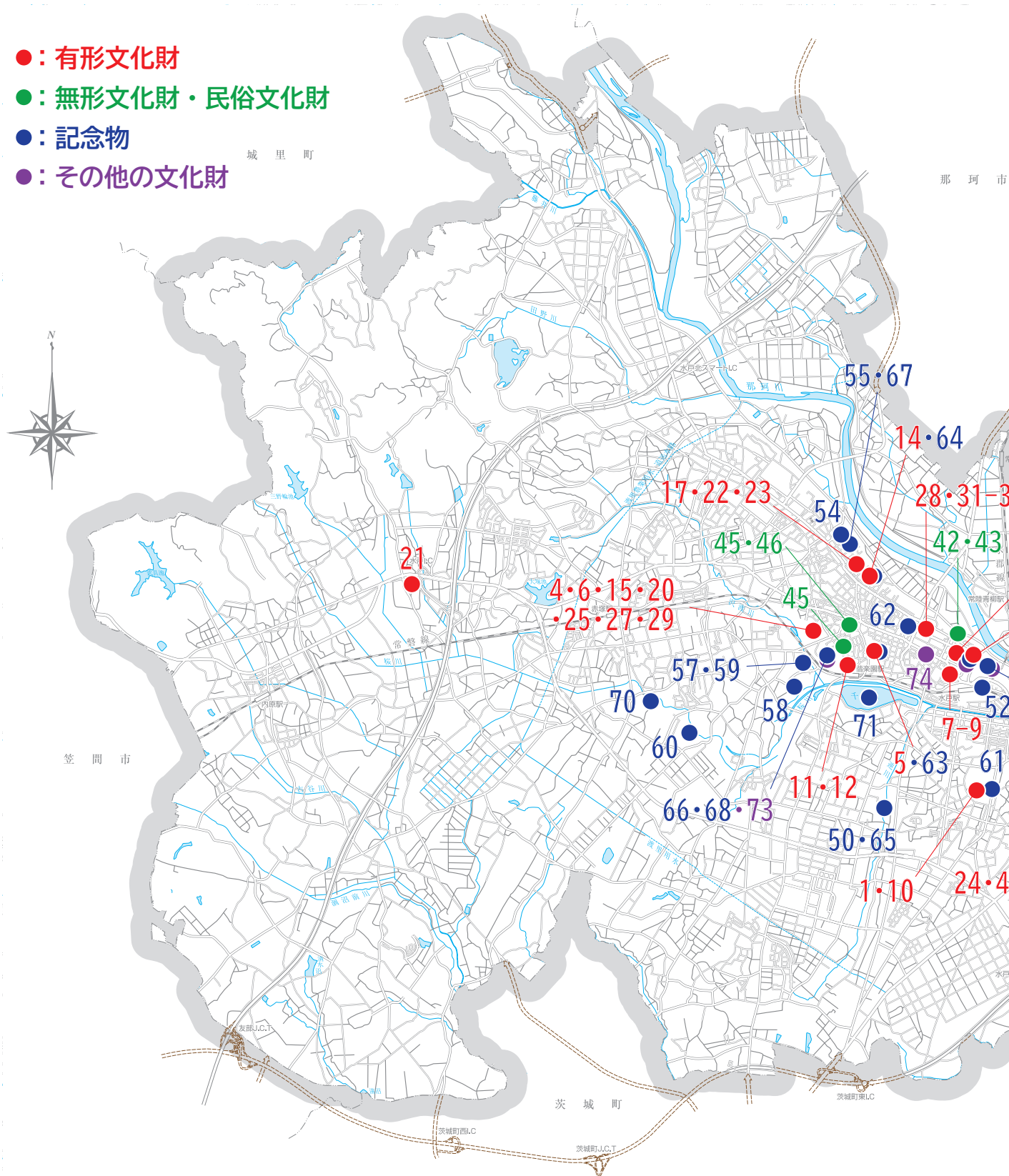


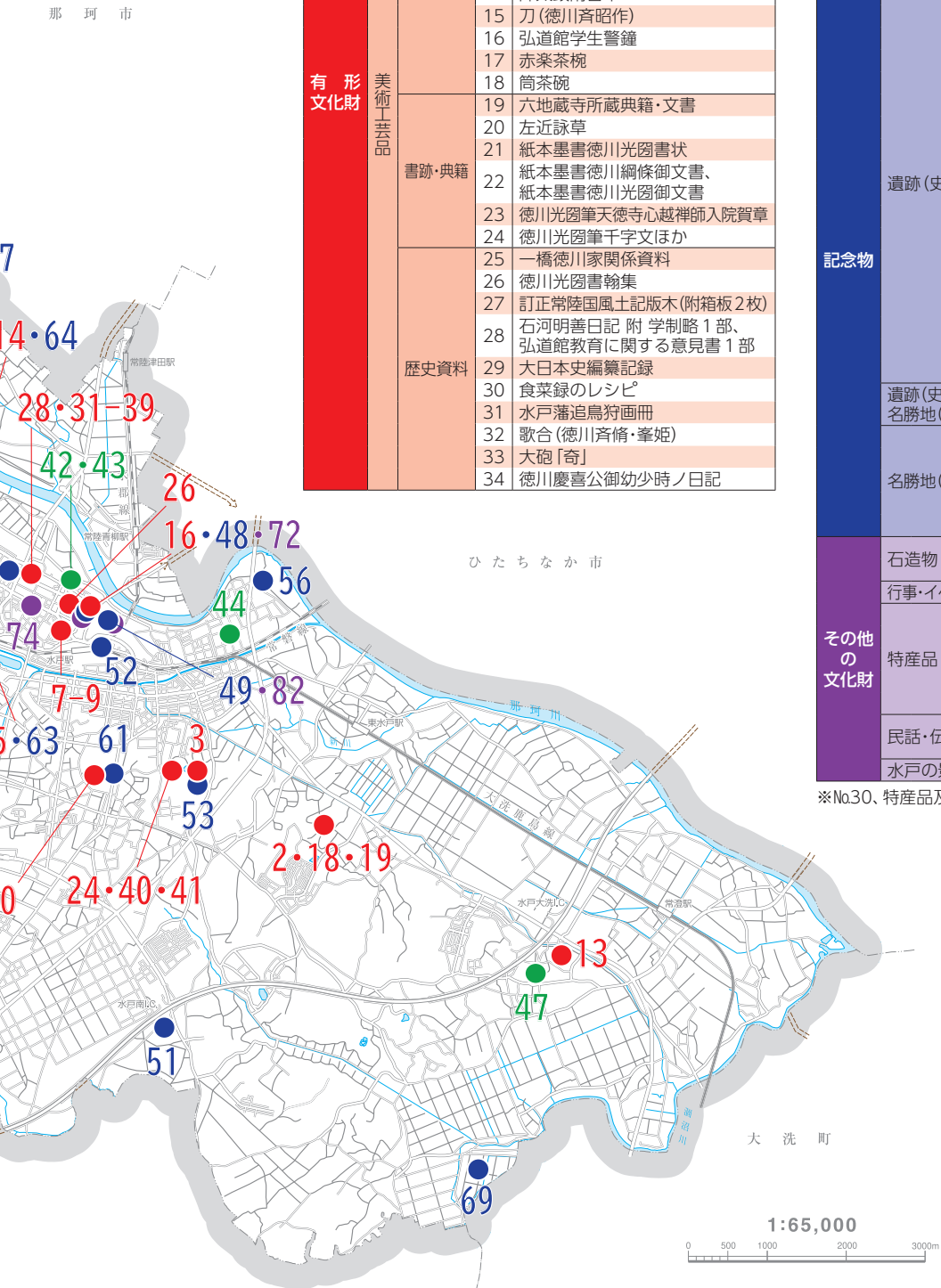
図8-5 関連文化財群4 水戸家は天下の副将軍 構成文化財所在地図



類型	No.	名称
有形文化財	建造物	1 葉王院本堂
		2 六地藏寺法寶藏
	彫刻	3 木造 聖徳太子立像
		4 太刀(銘則包作 附糸巻太刀拵)
		5 銅製経筒
		6 総毛引紅糸威胴丸具足
		7 安神車
		8 常葉山時鐘
		9 銅造 燈籠
		10 五輪塔
		11 陣太鼓
		12 太極砲
		13 大串稻荷神社神輿並びに日月鉾
		14 陣太鼓附台車
		15 刀(徳川斉昭作)
		16 弘道館学生警鐘
		17 赤楽茶椀
		18 筒茶碗
	書跡・典籍	19 六地藏寺所蔵典籍・文書
		20 左近詠草
		21 紙本墨書徳川光圀書状
		22 紙本墨書徳川綱條御文書、紙本墨書徳川光圀御文書
		23 徳川光圀筆天徳寺心越禪師入院賀草
		24 徳川光圀筆千字文ほか
	歴史資料	25 一橋徳川家関係資料
		26 徳川光圀書翰集
		27 訂正常陸国風土記版木(附箱板2枚)
		28 石河明善日記 附 学制略1部、弘道館教育に関する意見書1部
		29 大日本史編纂記録
		30 食菜録のレシビ
		31 水戸藩追鳥狩画冊
		32 歌合(徳川斉脩・峯姫)
		33 大砲「奇」
		34 徳川慶喜公御幼少時ノ日記

類型	No.	名称
有形文化財	美術工芸品	35 徳川光圀書詩稿(二首)
		36 徳川斉昭書歌
		37 徳川斉昭書簡
		38 徳川頼房書簡(義宣御腫物氣に付後音を期す)
無形文化財	歴史資料	39 眞寶閣図面
		40 徳川綱條筆扁額
		41 徳川光圀扁額敬峰宗恭書
		42 新田宮流抜刀術
民俗文化財	無形の民俗文化財	43 北辰一刀流
		44 水府流水術
		45 水戸大神楽
		46 水戸の獅子舞
記念物	遺跡(史跡)	47 大串のささらと大野のみろく
		48 旧弘道館
		49 水戸城跡(壘及び濠)
		50 笠原水道
		51 千束原追鳥狩本陣跡
		52 義公生誕の地
		53 酒門共有墓地
		54 常磐共有墓地
		55 谷中中山家墓所
		56 神勢館五町矢場跡
		57 一遊亭跡
		58 高枕亭跡
		59 玉龍泉
		60 桜の牧跡
		61 水戸藩御用神楽屋敷跡水戸大神楽発祥之地
		62 水戸城惣構
その他の文化財	遺跡(史跡)・名勝地(名勝)	63 神崎鎗砲所跡
		64 白旗山下製作所跡
	名勝地(名勝)	65 漱石所跡
		66 常磐公園(偕楽園)
	石造物	67 保和苑
		68 水戸八景
	行事・イベント	69 秋成新田
		70 河和田八景
	特産品	71 千波沼八景
		72 弘道館記碑
	民話・伝説	73 偕楽園記碑
		74 水戸黄門まつり
	水戸の景観	75 七面焼
		76 農人形
		77 黄門料理
		78 水戸藩ラーメン
		79 吉原殿中
		80 水戸光圀お手植えの桜
		81 水戸光圀黄門さまと老婆
		82 水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁堀

※No.30、特産品及び民話・伝説は図中に番号なし



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通した情報発信、刊行物の刊行、講演会の開催、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーの構成文化財である水戸城跡については、本市が誇るべき主要な歴史的景観であり、保存措置を講じ、未来に伝えていく必要があります。そのため、土塁整備を進め、本ストーリーにふさわしい景観の保全形成に努めます。→措置2-2
- 本ストーリーの構成文化財は、六地藏寺所蔵典籍・文書、訂正常陸国風土記版木、大日本史編纂記録など、わが国の歴史上重要な要素を多く含んでおり、わが国全体の視点から将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、国指定を含め、文化財の性質に応じた保存措置を講じていきます。→措置2-3
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、大串のささらと大野のみろくの民俗芸能実演支援事業など、関連施策を推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を生かし、楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要があります。そのため、弘道館・水戸城跡周辺地区、偕楽園・千波湖周辺地区、保和苑周辺地区など、各構成文化財が所在する地域において、文化財を活用した様々な施策を推進します。→措置3-2
- 本ストーリーや構成文化財は安神車、太極砲、北辰一刀流、水戸大神楽など、外国人にとっても魅力が高く、国際的な視野で活用を図っていく必要があります。そのため、多角的なインバウンド観光を推進し、受入体制の充実を図ります。→措置3-3
- 本ストーリーや構成文化財は、水戸黄門まつり、農人形、吉原殿中など、水戸らしさを伝える文化財（→112ページ）が含まれており、その活用を図っていく必要があります。水戸の歴史に裏打ちされたまつり、生活文化、食文化、伝統工芸等について、活用に係る施策を推進します。→措置3-4
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
- 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1



- 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2

⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名	措置内容	継続／新規	取組主体						計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期	
1-3-1	ホームページの充実	継続	◎						■	■
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	継続	◎						■	■
1-3-4	刊行物による情報発信	継続	◎						■	■
1-3-5	シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		◎	◎	◎		■	■
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	継続	◎	○	◎				■	■
1-3-7	多言語対応の強化	継続	◎						■	■
2-2-5	水戸城土塁(法面)の整備	継続	◎						■	■
2-3-6	指定相当の埋蔵文化財の現地保存に向けた検討	継続	◎	*		*			■	■
2-3-7	市外にある関連史跡等の保存への支援	継続	◎	○	○				■	■
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	新規	◎						■	■
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	新規	◎				◎		■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	継続	◎	*	*	*			■	■
3-2-1	水戸城歴史的建造物を活用した魅力づくり	継続	◎						■	■
3-2-2	民官連携による年間を通したにぎわいづくり	継続	◎			○			■	■
3-2-3	朝型・夜型イベントの充実	継続	◎			○			■	■
3-2-4	歴史的景観の改修整備	継続	◎						■	■
3-2-5	梅まつりをはじめ年間を通した民官連携イベントの充実	継続	◎			○			■	■
3-2-7	園路、広場等の整備	継続	◎						■	■



第8章 関連文化財群

措置名		措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間	
				行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
3-2-8	民間活力等を活用した魅力的な空間演出	【偕楽園・千波湖周辺地区】黄門像広場周辺地区で実施しているパークPFI事業により、自然の特色を生かしつつ、民間活力を活用した魅力的な空間演出を推進します。	継続	◎			◎		■	■
3-2-9	千波湖における環境学習会等の実施	【偕楽園・千波湖周辺地区】協働による千波湖学習会の開催等により、千波湖周辺の自然環境保全に係る意識の高揚を図ります。	継続	◎				○	■	■
3-2-10	偕楽園、千波湖、アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性を高める仕掛けづくりの推進	【偕楽園・千波湖周辺地区】偕楽園、千波湖、アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性向上に向けた事業を推進します。	継続	◎			○		■	■
3-2-11	既存施設のリノベーション	【保和苑周辺地区】魅力ある交流拠点の一つとしてにぎわいの創出を図るため、公園施設の更新や園路の整備等を実施するとともに、修景施設の整備を進めます。	継続	◎					■	■
3-2-12	あじさいまつりの充実	【保和苑周辺地区】近隣学校や地元商店会等と連携しながら、水戸のあじさいまつりの各コンテンツの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-2-13	近隣学校等と連携した若い世代を呼び込む取組の推進	【保和苑周辺地区】近隣学校や地元商店会等と連携しながら、保和苑及び周辺史跡を活用した事業を実施し、年間を通して「水戸のロマンチックゾーン」に若い世代を呼び込みます。	継続	◎		○	○		■	■
3-3-5	二の丸展示館における展示の充実	二の丸展示館において、日本遺産に関する展示を適宜更新し、ビジターセンターとしての機能の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-3-6	インバウンド観光の推進	水戸市インバウンド推進機構と連携しながら、ターゲットを絞ったSNS等の活用による戦略的プロモーションの実施と、多言語対応等による受入体制の充実を図ります。	継続	◎			○		■	■
3-4-1	各種まつりの充実	水戸ならではの歴史、文化、食、体験等の資源を活用しながら、まつり・イベントの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-4-3	歴史的資源、花火、納豆や水府提灯等の特産品を活用したブランディング	集客力のあるイベントにおいて、弘道館・偕楽園等の水戸徳川家ゆかりの歴史的資源や、花火、納豆、水府提灯等の地域資源を活用したコンテンツの実施及びPRを行います。	継続	◎			○		■	■
3-4-4	水戸の誇る食文化の発信	ホームページやSNS等を通じて本市の特産品である納豆の情報を発信するほか、納豆関連イベント等への支援を行い、「納豆のまち・水戸」のプロモーションを実施します。	継続	◎			○		■	■
3-4-5	水戸の誇る伝統文化の発信	まつり、花火、水府提灯等の伝統文化について、インフルエンサーの活用やインバウンド向けの発信等を戦略的に実施します。	継続	◎					■	■
3-4-8	グッズの制作・販売	文化財を活用したグッズを制作・販売し、文化財への愛着を促進するとともに、財源確保に努めます。	継続	◎					■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	市立博物館において、常設展示を適宜更新するとともに、特別展及び企画展を開催するなど、自然、歴史、民俗、美術資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	埋蔵文化財センターにおける市内遺跡調査の成果をもとにした企画展を開催するなど、考古資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-6	植物公園の更なる魅力づくり	植物公園について、イベントや各種展示会の開催、体験学習の充実、遠足・旅行会・研究会の場としての利活用等の事業展開を通して、公園の更なる魅力づくりを推進します。	継続	◎					■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進(キャリアプラン)	日本遺産に関する現地見学など、郷土への理解と関心を深める教育や、芸術に触れ豊かな感性を育む教育を充実するとともに、様々な体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進します。	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	かるた大会やかるためぐりを開催するとともに、かるたの更新を適宜行うなど、水戸郷土かるたの活用を通して、水戸の文化財や先人を楽しく学ぶ機会の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-1-8	おもてなしボランティア活動の推進	中学生による弘道館・偕楽園の観光案内や、小学生による「偕楽園記」暗誦披露など、歴史を活用したボランティア活動を通して、もてなしの心を育む教育の推進に努めます。	継続	◎					■	■



措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
4-2-1	いきいき出前講座の推進	継続	◎					■	■
4-2-9	図書、資料の充実	継続	◎					■	■

(5) 関連文化財群 5

① 名称 願いよ届けー信仰と祈りの歴史文化ー

② ストーリー

科学技術が発達していなかった時代、信仰と祈りは人々の心の拠り所となりました。日照り、水害、地震、疫病などの厄災を避け、豊かで健康な生活を望むために、人々は寺院や神社を建て、神仏像を作り、祭礼を催しました。

本市には薬王院、六地藏寺、佛性寺、善重寺、八幡宮等の拠点的な寺院や神社が集積し、これらの寺院や神社に残る多くの什宝がその歴史的特色を伝えています。

また、赤沼山薬師堂や春日神社等の村落内寺社、大串ささらばやしや大野みろくばやし等の無形の民俗文化財、庚申塔等の路傍に立つ無数の石造物が、地域の多様な信仰を物語っています。

さらに、水戸藩は神道や儒教による葬祭を奨励し、常磐共有墓地と酒門共有墓地といった国内に類を見ない儒式墓地が形成されるなど、神道・儒教・仏教が混交した特色ある信仰と祈りが展開しました。(→89ページも参照)

③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	佛性寺本堂(附旧露盤 1 個)	有形文化財	建造物	国指定	栗崎町
2	薬王院本堂	有形文化財	建造物	国指定	元吉田町
3	八幡宮本殿	有形文化財	建造物	国指定	八幡町
4	春日神社本殿 附棟札 2 枚、扉板 2 枚	有形文化財	建造物	市指定	赤尾関町
5	鹿島神社本殿・拝殿・中門及び瑞垣 (附設計図 9 点)	有形文化財	建造物	市指定	三の丸
6	杉崎八幡神社本殿	有形文化財	建造物	市指定	杉崎町
7	東光寺薬師堂及び厨子	有形文化財	建造物	市指定	大場町
8	中原不動尊本堂及び厨子	有形文化財	建造物	市指定	中原町
9	和光院不動堂	有形文化財	建造物	市指定	田島町
10	六地藏寺本堂(地藏堂)	有形文化財	建造物	市指定	六反田町



No.	名称	類型		指定	所在地
11	絹本着色 両界曼荼羅	有形文化財	美術工芸品(絵画)	県指定	六反田町
12	木造 聖徳太子立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	国指定	酒門町
13	銅造 大黒天像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	県指定	河和田町
14	銅造 大日如来坐像及三十仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	県指定	栗崎町
15	木造 薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	県指定	元吉田町
16	木造 十二神将像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	県指定	元吉田町
17	鍍金仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	県指定	緑町
18	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	吉沼町
19	木造 神事面	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	元山町
20	十一面観音像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	鯉淵町
21	木造 阿弥陀如来及両脇侍立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	酒門町
22	木造 薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	大場町
23	銅造 阿弥陀如来及両脇侍立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	八幡町
24	銅造 阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	飯富町
25	木造 十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市指定	飯富町
26	木造 如意輪観音坐像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	市認定	内原町
27	朱漆足付盥	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	国指定	六反田町
28	銅製経筒	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	県指定	天王町
29	密教法具	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	県指定	六反田町
30	灌頂用具	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	県指定	六反田町
31	石造 宝篋印塔	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	大串町
32	大串稻荷神社神輿並びに日月鉾	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	大串町
33	黒漆金銅装八角神輿、台輪付き(附 瓔珞・風鐸・神鏡等装飾金具、案2脚、銘札2枚)	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	市指定	八幡町
34	六地藏寺所蔵典籍・文書	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	県指定	六反田町
35	紙本墨書 傳燈山和光院過去帳	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	市指定	田島町
36	埴輪武装男子	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	塩崎町
37	石枕・立花	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	内原町
38	三角縁神獣鏡残欠	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	緑町
39	加倉井砂山夫妻の墓	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	成沢町



No.	名称	類型		指定	所在地
40	林十江の墓石	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	元吉田町
41	五輪塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	千波町
42	算額	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	大場町
43	板碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	平戸町
44	伝三ノ町出土常総系双式板碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	六反田町
45	板碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	市指定	六反田町
46	見川一本松の供養塔	民俗文化財	有形の民俗文化財	市認定	見川
47	水戸大神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	県指定	元山町・常磐町
48	吉田神社の秋季祭礼	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	宮内町
49	有賀神社の磯渡御	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	有賀町
50	大串のささらと大野のみろく	民俗文化財	無形の民俗文化財	国選択	大串町外
51	薬師堂の民間信仰資料群	民俗文化財	無形の民俗文化財	市認定	上国井町
52	向井町の散々楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	市認定	元山町
53	唯円道場跡伝承地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	河和田町
54	武田耕雲斎の墓	記念物	遺跡(史跡)	市指定	見川
55	酒門共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	酒門町
56	常磐共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	松本町
57	水戸殉難志士の墓	記念物	遺跡(史跡)	市指定	松本町
58	会沢正志斎の墓	記念物	遺跡(史跡)	市指定	千波町
59	親鸞聖人御田植の伝承地	記念物	遺跡(史跡)	市認定	飯富町
60	双体道祖神	その他の文化財	石造物	未指定	中丸町
61	朝房山の神蛇	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
62	阿弥陀さまと盗人	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
63	雷を蹴上げた観音さま	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
64	親鸞身代わり名号	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
65	八幡宮と火伏せの神	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
66	弁天様と白蛇	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
67	日本武尊朝日三角山	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー
68	六地藏寺と牛塚	その他の文化財	民話・伝説	未指定	ー

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

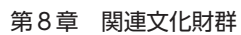
第6章

第7章

第8章

第9章

資料

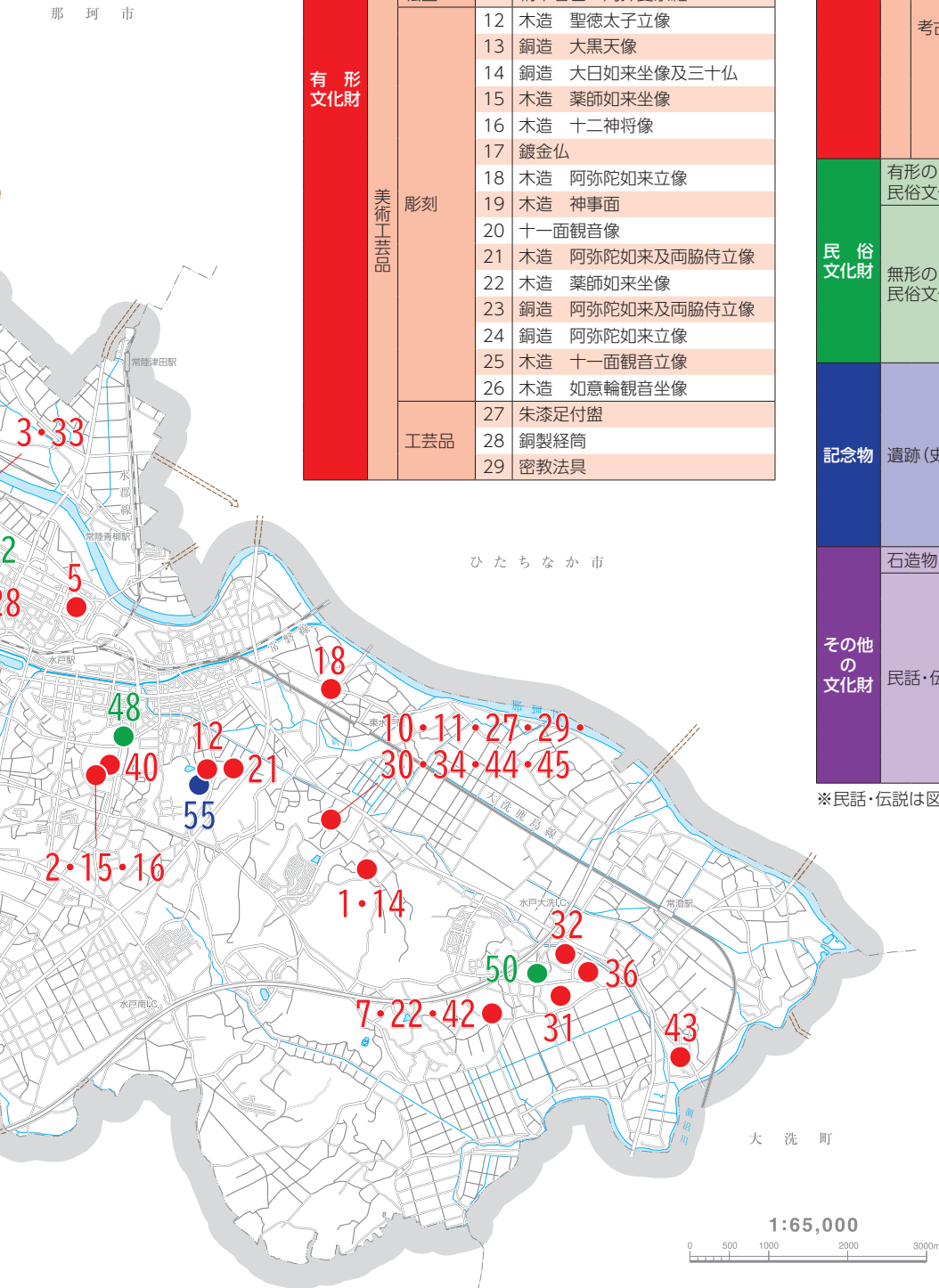




類型	No.	名称
有形文化財	建造物	1 佛性寺本堂(附旧露盤1個)
		2 薬王院本堂
		3 八幡宮本殿
		4 春日神社本殿 附棟札2枚、扉板2枚
		5 鹿島神社本殿・拝殿・中門及び瑞垣(附設計図9点)
		6 杉崎八幡神社本殿
		7 東光寺薬師堂及び厨子
		8 中原不動尊本堂及び厨子
		9 和光院不動堂
		10 六地藏寺本堂(地藏堂)
	絵画	11 絹本着色 両界曼荼羅
	彫刻	12 木造 聖徳太子立像
		13 銅造 大黒天像
		14 銅造 大日如来坐像及三十仏
		15 木造 薬師如来坐像
		16 木造 十二神将像
		17 鍍金仏
		18 木造 阿弥陀如来立像
		19 木造 神事面
		20 十一面観音像
		21 木造 阿弥陀如来及両脇侍立像
		22 木造 薬師如来坐像
		23 銅造 阿弥陀如来及両脇侍立像
		24 銅造 阿弥陀如来立像
		25 木造 十一面観音立像
		26 木造 如意輪観音坐像
	工芸品	27 朱漆足付盥
		28 銅製経筒
		29 密教法具

類型	No.	名称
有形文化財	工芸品	30 灌頂用具
		31 石造 宝篋印塔
		32 大串稻荷神社神輿並びに日月鉢
	書跡・典籍	33 黒漆金銅装八角神輿、台輪付き(附 瓔珞・風鐸・神鏡等裝飾金具、案2脚、銘札2枚)
		34 六地藏寺所蔵典籍・文書
	美術工芸品	35 紙本墨書 傳燈山和光院過去帳
		36 埴輪武装男子
		37 石枕・立花
		38 三角縁神獸鏡残欠
		39 加倉井砂山夫妻の墓
		40 林十江の墓石
		41 五輪塔
		42 算額
		43 板碑
		44 伝三ノ町出土常総系双式板碑
		45 板碑
民俗文化財	有形の民俗文化財	46 見川一本松の供養塔
	無形の民俗文化財	47 水戸大神楽
		48 吉田神社の秋季祭礼
		49 有賀神社の磯渡御
		50 大串のささらと大野のみろく
		51 薬師堂の民間信仰資料群
		52 向井町の散々楽
記念物	遺跡(史跡)	53 唯円道場跡伝承地
		54 武田耕雲斎の墓
		55 酒門共有墓地
		56 常磐共有墓地
		57 水戸殉難志士の墓
		58 会沢正志斎の墓
		59 親鸞聖人御田植の伝承地
その他の文化財	石造物	60 双体道祖神
	民話・伝説	61 朝房山の神蛇
		62 阿弥陀さまと盗人
		63 雷を蹴上げた観音さま
		64 親鸞身代わり名号
		65 八幡宮と火伏せの神
		66 弁天様と白蛇
		67 日本武尊朝日三角山
		68 六地藏寺と牛塚

※民話・伝説は図中に番号なし



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通した情報発信、刊行物の刊行、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、吉田神社の秋季祭礼など、歴史的風致に関連した祭りへの開催支援をはじめとする関連施策を推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
- 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
- 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2
- 本ストーリーや構成文化財は大串のささらと大野のみろくや向井町の散々楽など、無形の民俗文化財に深く関わっていますが、その継承が課題になっています。そのため、学校教育、生涯学習等様々な機会を通して、民俗芸能の継承への支援を推進していきます。→措置4-1、2



⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名		措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
				行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
1-3-1	ホームページの充実	市ホームページについて、文化財関連情報を素早くリサーチできるよう、サイトマップを適宜見直し、改善を図ります。	継続	◎					■	■
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	公式SNSを新設し、市の文化財情報をリアルタイムで配信するとともに、市公式YouTubeを活用し、文化財関連の動画番組を適宜拡充します。	継続	◎					■	■
1-3-4	刊行物による情報発信	『水戸の先人たち』、『水戸の指定文化財』、博物館図録等の既刊行物の頒布を促進するとともに、新規に刊行物を発行し、情報発信に努めます。	継続	◎					■	■
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	文化遺産説明板等の修繕や新規設置を適宜実施します。	継続	◎	○	◎			■	■
1-3-7	多言語対応の強化	文化遺産説明板やパンフレット等の多言語化を推進します。	継続	◎					■	■
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を導入し、効率的・効果的な文化財の保存・活用を進めます。	新規	◎					■	■
2-5-6	防災設備の整備促進	指定文化財(建造物)について、法令に基づき、自動火災報知設備等の防災設備の維持管理を促進します。	継続	○	◎				■	■
2-5-7	防火対象物への立入検査の強化	消防法に基づく立入検査を実施し、より多くの施設の火災リスクを低減させることで、施設関係者や利用者の安全を確保します。	継続	◎	○				■	■
2-5-8	文化財防火デーの実施	文化財防火デーにあわせ、文化財所有者や地域の協力のもと防火訓練を実施するなど、火災予防の啓発に努めます。	継続	◎	○	○			■	■
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	災害発生時に即時対応できるよう、茨城史料ネット、県立歴史館等との連携を強化し、レスキュー体制の構築に努めます。	新規	◎				◎	■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	水戸ならではの歴史的景観の保全・形成に取り組むとともに、歴史的資源の適切な保存・活用を図るなど、天下の魁・水戸にふさわしい風格ある歴史まちづくりを進めます。 また、歴史的風致維持向上計画(第3期)の策定を進めます。	継続	◎	*	*	*		■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	市立博物館において、常設展示を適宜更新するとともに、特別展及び企画展を開催するなど、自然、歴史、民俗、美術資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	埋蔵文化財センターにおける市内遺跡調査の成果をもとにした企画展を開催するなど、考古資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進(キャリアプラン)	日本遺産に関する現地見学など、郷土への理解と関心を深める教育や、芸術に触れ豊かな感性を育む教育を充実するとともに、様々な体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進します。	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	かるた大会やかるためぐりを開催するとともに、かるたの更新を適宜行うなど、水戸郷土かるたの活用を通して、水戸の文化財や先人を楽しく学ぶ機会の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-1-6	伝統文化親子教室の開催支援	こどもたちが親と一緒に民俗芸能・邦楽・茶道・華道等を体験し、伝統文化に親しめるよう、市民活動団体が実施する伝統文化親子教室の開催を支援します。	継続	◎		○			■	■

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



措置名		措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
				行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
4-2-1	いきいき出前講座の推進	市民に市政に対する理解を深めてもらい、地域の課題を市民と行政が一体となって考える機会とするため、「いきいき出前講座」の活用を促進します。	継続	◎					■	■
4-2-7	水戸市郷土民俗芸能のつどいの開催支援	(一社)水戸市郷土民俗芸能団体協議会が主催する「水戸市郷土民俗芸能のつどい」の開催支援を通して、民俗芸能の魅力を広く発信します。	継続	◎			○		■	■
4-2-8	民俗芸能団体への支援の充実	民俗芸能団体に対し、市独自の補助金を交付するとともに、広報や発表機会を提供するなど、多角的な支援を通して民俗芸能の継承に努めます。	継続	◎					■	■
4-2-9	図書、資料の充実	市民の調査研究や学習活動を支えるため、郷土・行政資料をはじめ、幅広い分野の図書、資料の収集を推進します。	継続	◎					■	■